

平成26年度 **農業後継者激励会**

讃岐 遼さん

田中一也さん



11 / 29

頑張れ！今金農業期待の若手！

讃岐 遼さん 田中 一也さん

趣旨

政府は「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、農業の成長産業化に向けて農業改革の推進を行うことを決定しましたが、JAグループは、自主・自立の協同組合であることを鮮明にし、組合員の意思に基づき、JA改革、中央会改革を行って参ります。

組合員の願いは、持続可能な農業、豊かで暮らしやすい地域社会の実現です。JAは自らの地域から離れることはできず、自らが存する地域社会と農業が回復・維持されない限り、自らの将来を開くことはできません。

JAグループは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、総合事業を展開し、農業と地域社会を豊かにするために全力を尽くします。

JAグループは自らの手で改革を断行します！

JA全中会長の諮問機関である総合審議会は、JA自己改革案について検討し、11月上旬にとりまとめを行い、自己改革の内容を決定しました。自己改革は、農業者や地域住民と一体となって持続可能な農業と、豊かで暮らしやすい地域社会を実現するために、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、目標の実現に向けて、今まで以上の創意工夫と経営判断に基づき、積極的な総合事業の展開を進めます。

JAは、農業振興はもちろんのこと、地域振興においても重要な役割を果たしています。JAグループは総合事業により、一つの拠点で複数の事業が利用できるワンストップサービスを組合員や地域住民に提供しており、地域社会の暮らしを支えています。また、農業・農村が食料の安定供給や多面的機能を維持していくためには、農業者と地域住民が一体となった協同活動が不可欠であり、JAの役割発揮がこれまで以上に強く求められています。

JA改革、中央会改革の全体イメージ

3つの基本目標

- 農業者の所得増大
- 農業生産の拡大
- 地域の活性化

JA改革：自らの創意工夫と経営判断に基づき農業地域の発展に貢献

中央会改革：中央会は自律的な新たな制度に生まれ変わる

JAの取り組み

- 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換の加速化
 - 担い手とJAの創意工夫ある販売を拡大
 - 生産資材価格の引き下げと低コスト生産技術の確立・普及
 - 一元的な輸出体制の構築による輸出額10倍の実現
- 担い手の育成を強化
 - 地域農業戦略に基づき担い手育成に向けた取り組みの加速化
 - 担い手経営体に対する連合会の個別対応による高度な支援
 - 営農指導員等の育成強化と専門能力の向上、適正人員の確保
- JAの業務執行体制(ガバナンス)を強化
 - 担い手経営体、多様化する組合員・女性によるJA事業への意思反映を強化し、意思決定を迅速化
- 農業と地域のために全力を尽くす
 - 「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としてJAが今後果たしていくべき役割と基本方向
 - 今後、役割が高まる農業振興と地域振興が一体となった取り組み
 - 農業者と地域住民が求める機能の継続的発展に向けた組合制度のあり方

中央会の取り組み

- 統一的な権限の廃止等組合員・JAのための自律的な制度へ
- 3つの機能に集約・重点化
- 経営相談・監査機能
 - 経営相談
 - 「事前指導型」から「経営相談(コンサル)事後点検型」に転換
 - 監査
 - 協同組合の経営を「今後は監査制度として品質を向上」
- 代表機能
 - 政策企画責任ある政策推進の展開
- 総合調整機能
 - 新農政の実現・地域活性化等に向け、一帯の総合調整機能を発揮

JAの取り組みを支援・補完

JAへの支援・補完機能を強化

- 全農連の連携
 - 「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」
 - 新規就農者、担い手を支援
 - 輸出
- 全農・経済連
 - プロダクトアウトからマーケットインへの転換
- 信用・共済事業
 - 業務合理化・効率化を通じてJAの事務負担軽減

連合会の取り組み

- JAの支援・補完機能を強化
- JAの取り組みを支援・補完

販売事業改革

JAグループは、組合員利用率の向上と販売・購買取扱高の拡大を目標に掲げ、組合員に高品質のサービスを提供し、農業関連事業の段階的な収支改善に取り組んでいきます。自らの創意工夫と経営判断に基づく販売に積極的に取り組みます。

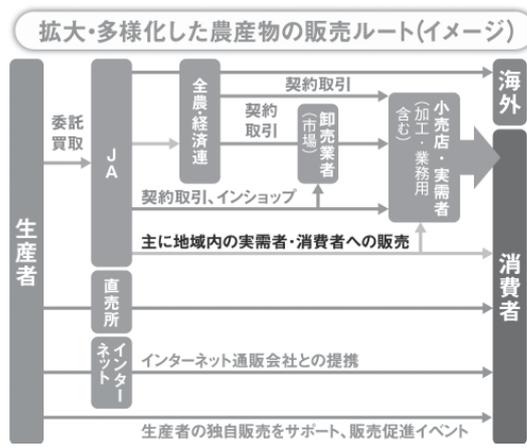
連合会は、JAを支援・補完し、JA単独では実現が困難である大企業との連携等による業務用・加工用販売との強化やインターネット通販会社の提携などにより、消費者への販売を支援していきます。

組合員に選ばれる満足度の高いサービスを提供！

購買事業改革

連合会と連携し、一律的な価格体系による購買方式を見直し、取引条件に応じた価格設定や物流体制の強化による生産資材価格の引き下げ、ホームセンターなどの定期調査を実施し、格手数料設定の見直しに対応します。

さらに、土壌診断に基づく施肥による肥料コストの引き下げ、水稲直播技術による省力化、水稲育苗箱全量施肥栽培などの新たな低コスト生産技術の開発・普及に取り組みます。



JAグループ取扱品(農業・肥料)と商系の比較

● 同一品質の農産価格を比較した場合、JAグループ取扱品の約8割が商系よりも割安に提供されている

● 価格面は、JAグループと商系では品質格差が大きいため、価格の単純比較は困難

● 品質面は、全農調査によれば、ホームセンターが販売する化成肥料の約8割に肥料取締法やJAグループの取扱ルール(くみあい肥料)の品質および銘柄取扱いの考え方に不適合な商品が見つかった

資料:全農調査より ※調査対象:120店舗 130品目

農産	H15年	H25年
同一品質の農産価格を比較した場合、JAグループ取扱品の約8割が商系よりも割安に提供されている	78%	79%
価格面は、JAグループと商系では品質格差が大きいため、価格の単純比較は困難	22%	21%

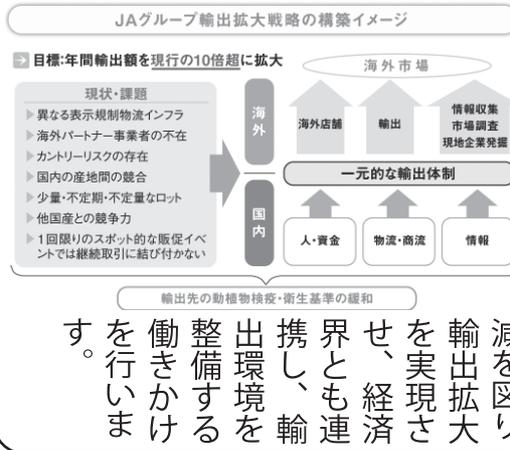
JAにおける担い手への弾力的対応(事例)

- ① 価格の引き下げ
 - 予約購買による価格メリット ● 当用価格と比較して割安に提供
 - 大口購入優待 ● 肥料の大口購入について、購入量に応じて優待
 - 自己取り引き ● 大型規格肥料の購入について、自己取り引きの数量に応じて優待
- ② 後戻し奨励 ● 価格算入へ
 - JA・連合会の生産資材に関する後戻し奨励の価格算入を進め、競争力ある価格設定に見直し
- ③ 他業態への対応
 - ホームセンター価格調査(毎月2回)により、同様の商品でJAの価格が高い場合の対応
 - 1:仕入先(主に連合会)と交渉して価格を見直し 2:JA手数料の引き下げにより価格を見直し

ホームセンターなどに負けない生産資材価格と、担い手経営体へのメリット還元を実現

年間輸出額は現行の10倍超を目指します！

一元的な輸出体制の構築を進め、平成32年までに年間輸出額を現行の10倍超に拡大します。付加価値向上や輸送コストの低減を図り、輸出拡大を実現させ、経済界とも連携し、輸送環境を整備する働きかけを行います。



担い手の意見を取り入れた組織運営を進める！

担い手や多様な組合員の意思決定を迅速にするため、理事選出において生産部会や青年部、女性部の代表者を登用する仕組みを検討します。

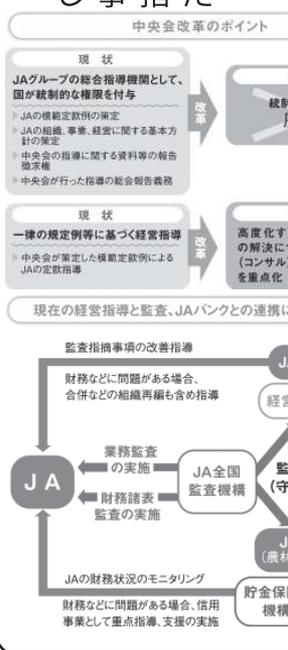
また、常勤理事の営農経済担当の明確化、営農経済委員会や販売事業委員会などの設置、JAの共同利用施設や一部事業を担い手が組織する営農組合や法人などへ運営委託をすることも、施設投資に必要となる様々な仕組みの整備も検討します。

販売や経営などの分野で専門的な知識を有する学識経験者の活用なども取り組みます。

「新たな中央会に生まれ変わります！」

中央会は、JAの自主的な取組を支援する組織とし、中央会の機能を3つに集約します。「代表機能」では、農政推進を図るため、政策企画・提案に特化します。「総合調整機能」については、JAの営農経済事業を強化する「担い手サポートセンター」の設置、一元的な輸出体制の構築に取り組みます。

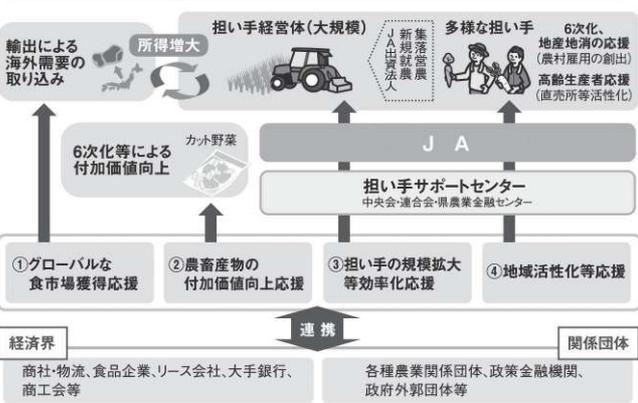
「経営相談機能」では、「経営相談機能」では、JAの創意工夫を後押し・下支えするため、一律的な事前指導から個別相談と事後チェックに転換します。



全農・経済連の基本的な戦略

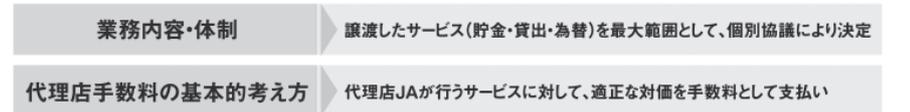
- ① プロダクトアウトからマーケットインへ事業を転換
消費者のニーズを的確にとらえ、買ってもらえるものを作って売る戦略に転換
- ② 生産から販売までのトータルコスト低減の取り組み
「バリューチェーン」構築による販売力強化に加え、トータルでのコスト低減に取り組む
- ③ 農産物生産にかかる多様化する農業者ニーズへの柔軟な対応
高度化・専門化・個別化する要求に対して、営農指導員の人材育成を急ぎJAグループとして対応力を強化

「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」(イメージ)

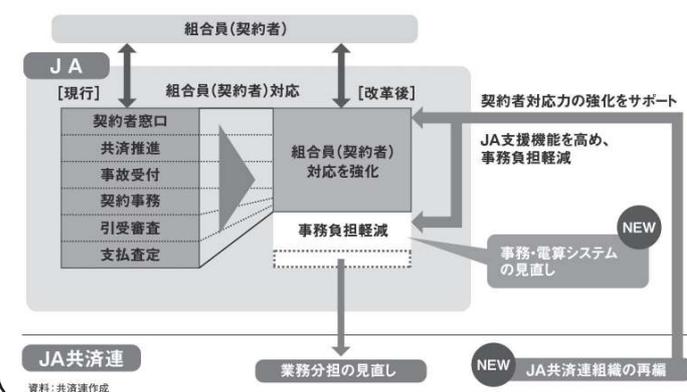


連合会の担い手・JAへの支援補完機能をさらに強化します！

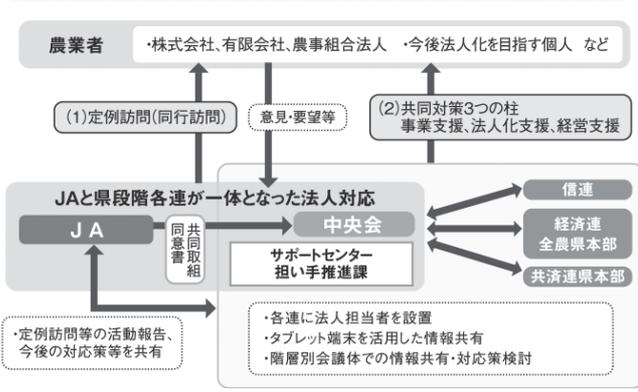
信用事業における「代理店モデル」の基本スキーム



共済事業におけるJAの事務負担軽減に向けた取り組み



担い手への支援に関する総合調整のイメージ(JAグループ鹿児島事例)





▲ディスカッションをする部員たち



▲純農BOYに選ばれた讃岐さん



▲おいしい給食を準備する皆さん



▲みんなで「いただきます！」

11月17日、道南農業会館で道南地区青年部連絡協議会冬期部員研修が開催されました。今年度は農村ホームステイについて株式会社ノースプロダクションの近江正隆氏に講演をいただきました。

その中では今夏、今金小学校の先生をホームステイとして受け入れた金原地区の伊藤司さんも事例報告を致しました。

分科会では水稲、酪畜、施設野菜、露地野菜の4グループに分かれ、グループディスカッション

を行い、ホクレンの各課長よりアドバイスを頂きました。懇親会では、恒例となつているアームレスリング大会が開催され、今金勢も健闘しましたが、入賞を果たすことはできませんでした。しかし、各地区より発表される1分間CMでは今金町の作品が会場の笑いを誘つた他、純農BOYオーディションでは道南代表として八束の讃岐遼さんが見事に選ばれました。12月4日、5日の全道大会での活躍が期待されます。



JA今金町女性部・青年部の部員が11月19日、町内の小・中学校、へき地保育所、認定こども園を訪れ、「今金産ゆめぴりかのおにぎり」、「今金男しやくの塩煮」、「呉汁」という素材の味を生かした給食を提供させていただき、生産者が児童生徒と一緒に食しました。

この活動は今年で7年目を迎え、「ふるさとへの恵みとほほ笑みに感謝する日」と題されており、生産者の作物に対する思い、育てる苦勞を知り、郷土でとれ

た作物である『ふるさとへの恵み』に感謝する心を育むきっかけになれば、という目的で行われています。

「いただきます」の前に、JA今金町女性部・青年部、関係者からお話をいただき、児童たちは熱心に聞き入っていました。

食材など必要なものの購入には「JAバンク教育活動助成(食育推進事業)」が使われ、児童生徒たちの食育のために活用されています。



ほ乳牛を寒さから守ろう！

これから厳しくなる冬期間、ほ乳牛の寒さ対策は万全ですか？

仔牛の管理適温は13～25℃です。仔牛は病気に対する抗体を持たず、体は脂肪の付きが少ない状態で生まれてきて、13℃を下回ると寒冷ストレスを感じてしまいます。元気に生まれた仔牛を丈夫に育てるための環境を整えましょう。

1 仔牛の体温を下げる「寒さ」とは

寒さを感じて体温を下げてしまう理由は4つあります。

- ◆体が濡れていると水分が蒸発する時に一緒に体熱が奪われる（気化・揮発による寒さ）
- ◆体のまわりの暖かい空気が冷たい空気と入れ替わる（すきま風・対流による寒さ）
- ◆冷たいものに近づくと温度差で熱が低い方に移動する（放熱・ふく射による寒さ）
- ◆冷たいものに触れると体熱が奪われる（伝導による寒さ）

2 寒さ対策をしましょう

寒い時期のほ乳牛はもちろんですが、調子の悪い牛にも対応できるポイントです。

- 牛床に敷料をたっぷり使い、敷料が汚れたら取り除き、乾いたものを追加する
- カーフハッチやペンは牛体に冷たい風が当たらない、すきま風をふさぐ工夫をする
- 投光器やヒーターなどを吊したり、カーフジャケットを着せて保温する
- 天井の高い施設では、コンパネやシートで一部を低くする



3 換気をしましょう

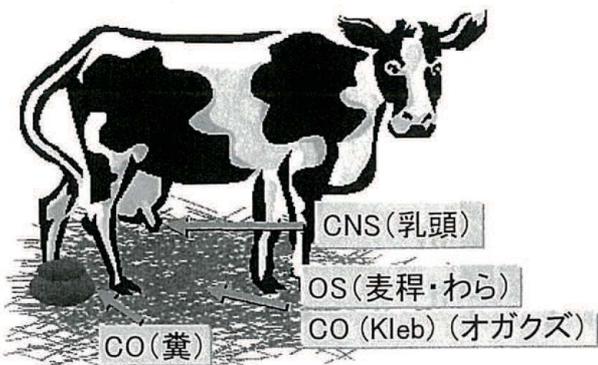
冬期間は寒いので牛舎を閉めきってしまいがちですが、換気が必要です。牛舎内の暖かい空気は湿気やホコリ、糞尿からのアンモニアガスとともに上昇します。

新鮮な空気を牛舎に引き込むため、日が差し込む日中に南側の窓や扉を開けて換気しましょう。換気扇設置の牛舎であれば、回転数を下げて上部の空気を換気してください。

テーマ 乳房炎の原因菌とその感染経路のちがい

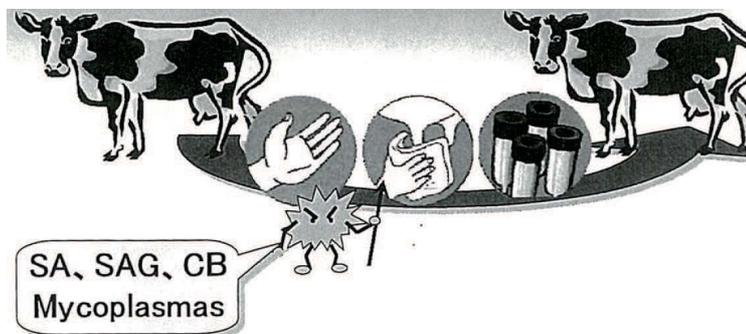
①環境性細菌の感染経路

環境から牛へ ⇒ 環境性乳房炎



②伝染性細菌の感染経路

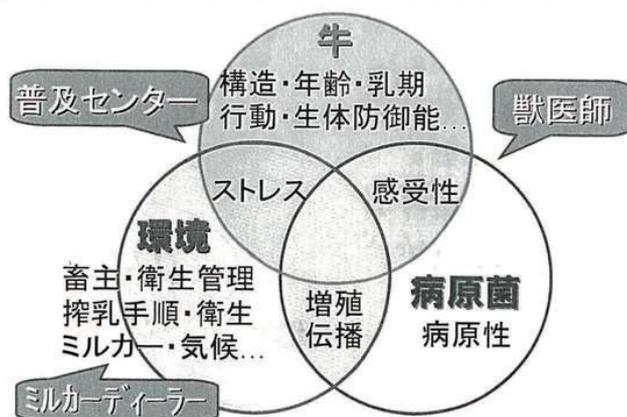
牛から牛へ ⇒ 伝染性乳房炎
搾乳時、牛から牛へ伝染する



乳房炎の原因菌

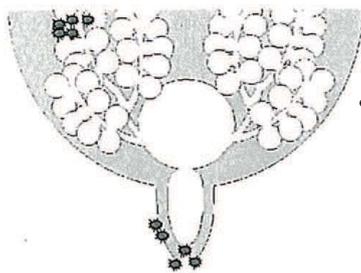
伝染性細菌	環境性細菌
黄色ブドウ球菌	コアグラージェ陰性ブドウ球菌
無乳性連鎖球菌	環境性連鎖球菌
減乳性連鎖球菌	大腸菌群コリフォーム
コリネバクテリウム	緑膿菌
ボビス	
マイコプラズマ	など

乳房炎発生要因と技術者の関わり



<伝染性乳房炎の中で最も問題となる黄色ブドウ球菌 (SA) の特徴>

- ・ 感染源
 - > 感染分房
 - > 乳頭管、乳頭口の傷
 - 乳頭皮膚のあかぎれ
- ・ 感染様式
 - > 搾乳時に牛から牛へ
 - > 感染乳汁の給与とハエの関与？
 - ・ 未経産牛における発症



- ・ 特徴
 - > 主に潜在性～慢性 (特に急性、甚急性)
 - > 微小膿瘍を形成し、治療に抵抗する
- ・ 基本的な防除方法
 - > 感染牛の隔離・淘汰
 - 感染分房の盲乳
 - > 乾乳期治療
 - > 搾乳衛生遵守
 - ・ 搾乳前乳頭の殺菌
 - ・ ポストディッピング

深部感染



各課職員の紹介

Vol. 6

最後の各課職員の紹介は営農部 販売課②・経済部 店舗購買課をご紹介します。JA今金町へお立ち寄りの際、または外勤の際はよろしくお祈りいたします。

営農部販売課②



- | | | | | |
|----------|-------|---------------|---------------|-------------|
| 【1列目左より】 | 伊勢 公孝 | 田淵 耕平 | 坂上 信彦 | 係長
藤田 倫史 |
| 【2列目左より】 | 秋元 優 | 販売課長
菅原 義高 | 営農部長
工藤 裕之 | 尊保 知之 |
| 【左上より】 | 今野ひとみ | 米世 晴美 | | |



経済部店舗購買課



- | | | | | | |
|----------|-------|-------|---------------|-------------|-----------------|
| 【1列目左より】 | 西野 満子 | 阿部 睦子 | 菅又 光枝 | 佐藤 千尋 | 岡本 恵子 |
| 【2列目左より】 | 佐藤 初恵 | 白井千鶴子 | 経済部長
長浜 隆之 | 飯谷 太宣 | 日置恵美子 |
| 【3列目左より】 | 吉田 哲也 | 小池 正道 | 佐藤 尋亮 | 係長
菅野 康弘 | 三浦 雅行 |
| | | | | | 店舗購買課長
今野 英樹 |



管理課からのお知らせ

人間ドック受診の宿泊サービスのご案内

日頃より農作業お疲れ様です。農作業が一段落した時に人間ドックを受診してはいかがでしょうか？人間ドックは、日常生活を支障なく送っている人を対象として、短期間に全身の総合的な健康診断を行い、本人の健康状態を評価、把握し、その後の生活における健康面での指導を行う総合健康診断のことです。自覚されていない病気を早期に発見すること、老化に伴う心身の機能の低下を判定して、健康保持の方針を確立することを目的としています。皆様の健康管理にお役立てください。

- サービス内容 3月・4月・5月は札幌厚生病院にて宿泊料金を全額負担いたします。
※上記以外の月については、一部ご負担いただきます。
※お食事代金等は含まれておりません。
- 宿泊で負担金
◆1月・2月・6月【シングル 3,000円/1名】【ツイン 2,000円/1名】【トリプル 1,500円/1名】
◆7月・8月・9月【シングル 7,000円/1名】【ツイン 4,000円/1名】【トリプル 3,500円/1名】
◆10月・11月・12月【シングル 4,000円/1名】【ツイン 2,500円/1名】【トリプル 2,000円/1名】
- 対象となる宿泊 札幌厚生病院にて人間ドックを受診いただく方の前泊1日分
- 宿泊先 ○ホテルクラビーサッポロ 中央区北2条東3丁目
○札幌全日空ホテル 中央区北3条西1丁目
○ニューオータニイン札幌 中央区北2条西1丁目
※宿泊先は申込日により上記3施設の中から当方にて振分いたします

申込・問合せ先TEL 0137-82-0211 JA今金町 管理課まで

物を動かす（運ぶ）ことは生産活動の基本です。機会や道具を使って運ぶ、人力で運ぶという方法があります。

人力運搬について考えます。産業英英の分野では、重量物の取り扱いガイドラインとして「人力のみのハンドリングでは一度に運ぶ物の重さはご本人の体重の40%以下になるよう努力しましょう」「女性の持ち上げ能力は男性の60%程度」としています。体重65kgの男性では26kg以下、女性では約15kg以下ということになります。

さらに、高齢者ではそれよりも20%程度少ない数値と考えるのが妥当でしょう。数値が小さ過ぎて仕事がかたらないと考えるかもしれませんが、肩や腰には有効な方法です。1回の物



のまとめ方や、2人で運ぶ、道具を使うなど運び方の工夫をしましょう。機械に燃料補給する場合に、重たいポリタンクを無理な姿勢で持ち上げることがありますが、小さな量に分けて給油することも負担軽減になります。

運ぶ物の大きさや重さ、移動距離によっては、機械・道具を使います。軽トラック、農用運搬車、モノレールなどを使いますが、農作業死亡事故の10%以上が運搬車に関係しています。軽トラックでは過剰積載と整備不良、農用運搬車では、圃場（ほじょう）内のみ乗用が認められているにもかかわらず、圃場外でも乗車して移動して転倒・転落する事故、モノレールでは、乗用禁止に指定されている機種でも乗用利用することによる暴走と車体からの転落があります。また、荷の積み方によっては、操作者には影響が無くても、はみ出しなどによって第三者を傷つける場合があります。

機械・道具の利用、人力運搬いずれでも、わが身および周囲の安全確保に気を配ってください。

ワンポイント1分間運動

今月のテーマ～冬季間の体力作り～

<簡単筋トレで冬を乗り切ろう!!>

加齢と共に太りやすい体質に変わっていきます。
冬季間の運動は重要です。



今金町健康づくりアドバイザー
下メップ高台地区 岸徹也さん



姿勢

手の平を合わせ押し付けます



胸

もも



もも裏



背もたれによしかかっている姿勢は背中の筋肉が働きません。時々背筋をピンと伸ばしてみましょう。



手のみ、足のみでもいいですよ



背中・おしり



お腹



それぞれの種目を1分間ゆっくり動いてみましょう。

ふくらはぎ・すね



かかとの上げ下げです。

呼吸を止めない様にゆっくりと動いてください。痛みがある場合は止めましょう。

体力作りには、バランスの良い食事と休養も重要です。もちろん運動も!! しっかり体力作りをして来年に備えましょう!!

モデル：神丘高台地区 川崎 敏彦
撮影協力：苅屋 泰裕